

新型コロナウイルス感染症に係る議会活動に関する調査の概要

1 本アンケート調査の趣旨、内容等

北海道自治体学会議会技術研究会では、新型コロナウイルス感染症拡大のなかの、二〇二〇年八月中旬から九月中にかけて、研究会の会員議員を対象に、新型コロナウイルスに係る、所属する議会の活動に関するアンケート調査を行いました。

三月には北海道独自の、そして四月～五月には国による緊急事態宣言が出され、社会全体の活動が大きく制限され、現在は第三派といわれる、全国的な感染拡大により、経済、社会、医療等が深刻な打撃を受け、合議制機関としての議会の活動も、多くの制約を受けています。

一方、このように、住民の生活が危機的な事態であるからこそ、その代表としての議会・議員の活動の真価が今ほど問われていることはありません。

研究会では、コロナ禍のなか会員である議員が、所属する議会をどう捉え、議会がどのように活動しようとしているのか。あるいは、そうしたなかにあつて、新しい議会活動を模索している議会もあり、現状を悲観的に捉えるのではなく、新型コ

ロナ感染拡大のなかでも、議会のレゾナードール（存在価値）をあらためて確認する意味でのアンケート調査にしようと考えました。

現在、道内・道外を含め、市町村の議員を中心に、二〇二〇年一〇月八日現在で一四六名が当研究会の会員となっております。本調査は、北海道内の会員に限定して、所属する市町村議会について行ったものですが、一〇五名に対する調査の結果六四名（町村四九名、市一五名）から回答をいただきました。

アンケート調査の大項目は、**図表1**のとおりです。左欄は八月中に行った調査（一次調査）の項目です。この後、研究会の運営委員会において、より分かりやすい調査項目にするため、一部修正のうえ、右欄の内容で九月の調査（二次調査）を行いました。したがって、全体として活動の方向が分かりやすくなるよう整理されています。

なお、本アンケート調査は、会員個々の立場で、所属議会の現状について率直な回答を求めていることから、回答者個人が特定されないよう配慮して統計処理をいたしました。

ご協力いただきました会員におかれましては、この場を借りてお礼申し上げます。

図表1 アンケート調査の大項目

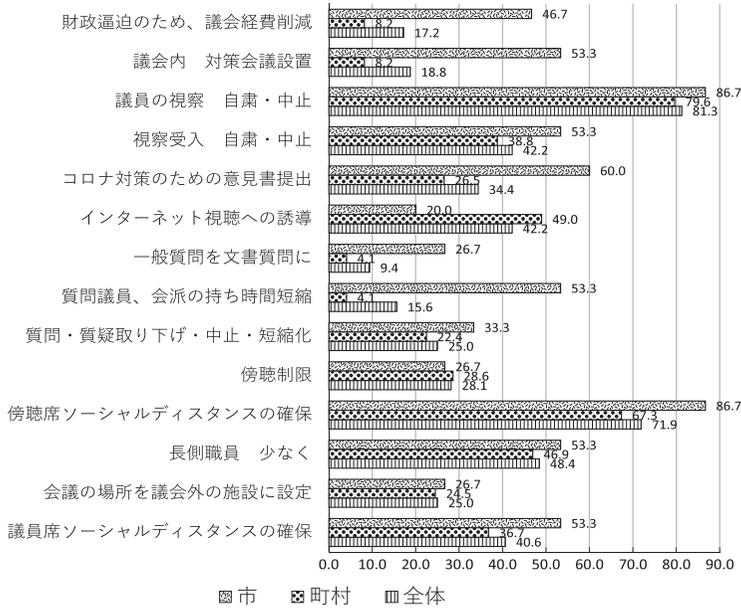
8月一次調査の項目(64名中12名)	9月二次調査の項目(64名中52名)
1 所属議会・市町村別	1 所属議会・市町村別
2 議会での新型コロナウイルス感染の影響の有無	2 議会での新型コロナウイルス感染の影響の有無
3 具体的に取り組み (1)議会運営全般 (2)議会と住民の交流 (3)議会と長との関係	3 具体的に取り組み (1)議会運営全般 (2)議会と住民の交流 (3)議会と長との関係
4 上記2)に関する具体的な数値化 (1)議会運営全般 (2)議会と住民の交流 (3)議会と長との関係	4 議会と職員との関係 (1)議会事務局職員との関係の変化 (2)議会事務局以外の職員との関係の変化
5 議会と職員との関係 (1)職員との関係の変化 (2)議会事務局職員との関係の変化	5 議会基本条例の制定等について (1)条例の制定の有無 (2)制定の場合の新型コロナへの活用
6 議会基本条例の制定等について (1)条例制定の有無 (2)制定の場合の新型コロナへの活用	6 コロナ禍の中での今後の議会のあり方
7 コロナ禍の中での今後の議会のあり方	7 自身の議会の今後の改革の方向

※ 一次調査の項目中、4の項目については十分な回答が得られず数値化が難しかったため、論評の対象としない。

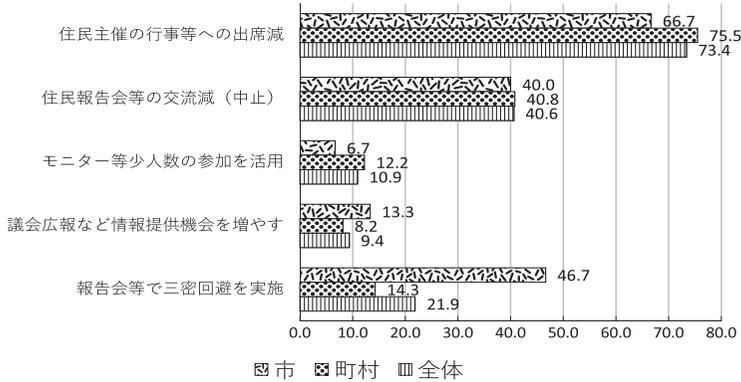
2 新型コロナウイルスの影響と議会の対応

(1) **議会運営全般、住民との交流、長との関係**
 コロナの影響については、町村、市ともに、割合を超える会員の議会において、影響がかなりあるいは、多少影響があつたと回答しています。回答者数の違いがありますが、町村が16%に対し、市では、47%程度がかなり影響があつたとしています。

図表2 コロナ感染の取り組み議会運営全般



図表3 議会と住民との交流



具体的な取り組み(図表1の調査項目3)において、(1)の議会運営全般では(図表2)、議員の視察の自粛・中止が81%と最も多く、傍聴席のソーシャルディスタンスの確保が72%、長側の出席職員を少なくしているが48%、インターネット視聴への誘導及び視察の受入れ中止・自粛が同率の42%、議員席のソーシャルディスタンスが41%とつづきます(いずれも複数回答可)。

町村と市の別では、町村では、議員の視察の自粛・中止が80%、傍聴席のソーシャルディスタンスが67%、インターネット視聴への誘導が49%、市では、議員の視察の自粛・中止と傍聴席のソーシャルディスタンスの確保が同率の87%、コロナ対策のための意見書の提出が60%とつづきます。

傍聴制限、質問等の取下げ・中止等、審議日数等の短縮等が20%〜30%の回答があった一方で、通年議会で柔軟に対応が20%程度(町村のみ)回答がありました。また、コロナを見据えBCP作

成、現行BCPをコロナ対策で運用がそれぞれ10%、議会内対策会議設置が20%(特に市は、53%)の回答となっています。

マスク着用、消毒、換気といった基本は、ほとんどの議会が実践しています。

(2)の議会と住民の交流では(図表3)、住民主催の行事等への出席減が73%、住民報告会等の交流減(中止)が41%の一方、三密回避により報告会等を実施が22%、モニター等少人数の参加の活用が11%となっています。三密回避の報告会については、町村では14%、市では47%と開きがあります。

(3)の議会と長の関係では、長側の職員の出席を少なくが42%と最も多く、コロナ対策としての長への政策要望が39%(町村29%、市73%)、情報化のための国の交付金の活用を長に要求が16%とつづきます。なお、オンライン会議活用は、10%近くの回答となっています。

(2) 議会基本条例との関係

全体で44%(町村39%、市60%)が議会基本条例を制定、52%(町村55%、市40%)が議会基本条例を未制定と回答しています。制定したと回答したなかで、39%(町村32%、市56%)がコロナ問題に活用した条項がある(九月二次調査)、条例が活用できている(八月一次調査)と回答しています。一方、36%(町村42%、市22%)がコロナ問題に活用した条項がない(九月二次調査)、条例が活用できていない(八月一次調査)と回答しています。

この設問からは、基本条例制定の割合が高い市のほうが、活用した条項がある、あるいは、活用できていることがうかがわれます。

3 今後の議会のあり方

(1) 今後の議会のあり方

今後の議会のあり方については、コロナ禍での試みをさらにすすめ、新しい議会のあり方を模索としたのは、50%（町村51%、市47%）。現在の議会活動は大幅に制限されているので、これを教訓に、収束後の活動を見直すとしたのは、13%（町村が14%に対し、市が7%）と前向きな回答となりました（図表4）。

収束すれば元の議会活動に戻るので、我慢して耐え忍ぶ、とした現状維持の回答は13%（町村、市ともに13%）となりました。

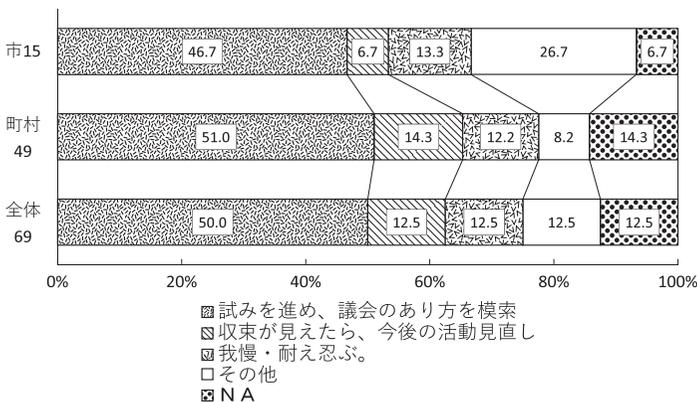
この設問からは、町村のほうが市よりも、前向きにとらえていることがうかがわれます。

(2) 議会改革はよい方向に向かうか

コロナ感染症による影響を経験して、議会の今後の改革はよい方向に向かうと思うか、今後の議会改革の展望を聞いてみました（この設問は九月の第二次調査に回答した五二名が対象）。

五二名（町村四一名、市一一名）中、コロナを経験してよい方向に向かうと「思う」は50%（町村49%、市55%）、「そう思わない」としたのは14%、「現状と変わらない」が21%、無回答15%という結果でした。

図表4 コロナ禍の中で今後の議会のあり方



ここで、議会改革はよい方向に向かうと「思う」と回答した50%（二六名。町村二〇名、市六名）を、五二名の全体回答と比較して特徴をみます。全体と比較して、「質問・質疑の取下げ等」や「審議日数短縮」の割合が6〜10ポイント程度高く、「議員席のソーシャルディスタンスの確保」、「通年議会を柔軟に対応」、「BCP作成、現行BCPの運用」が6〜8ポイント、「インターネット視聴への誘導」23ポイント、「議会内対策会議の設置」や「報告会等で三密回避の実施」が16〜17ポイント

ト、「長に対する情報化のための交付金活用要求」が11ポイント、それぞれ高い傾向にあります。さらに「議会基本条例の制定」が22ポイント、「コロナ問題に活用した条項がある、活用できている」が10ポイント、「新しい議会のあり方を模索」が27ポイント、それぞれ全体集計より高くなっています。

一方、「今は我慢して耐え忍ぶ」は少なく、よい方向に向かうと「思う」と回答した人は、果敢に対応していこうとする姿勢が見られます。

4 本アンケート調査の今後の活用

今回のアンケート調査では、新型コロナウイルスの感染症が国内で拡大していくなか、各会員の所属する議会が、それぞれ感染拡大を防止しながら、議会運営、住民との交流、長との関係に苦心、腐心している様子がうかがわれます。こうしたなか、新型コロナウイルスの感染が今後もしばらくつづくことを考えると、新型コロナウイルスと付き合い、また、収束後の議会のあり方を考えていかなければなりません。

そのような意味で、「コロナを経験して今後の議会改革がよい方向に向かう」と回答された会員、そして、具体的な取組みをすすめている議会が存在することには勇気づけられると思います。

議会技術研究会では、今後、運営委員会を中心に、コロナ禍を経験した今後の議会改革を展望した座談会を行うなど、アンケート調査結果をさらに活用して、提言や活動の充実化につなげていく考えです。

資料・新型コロナにかかる議員向けアンケートの調査項目と回答結果

調 査 項 目	全体 64名	%	町村 %	市%
1 あなたの所属する議会について				
①市議会	15	23.4		100.0
②町村議会	49	76.6	100.0	
③道議会	0	0.0		
2 あなたの所属する議会ではコロナ感染の影響はありましたか				
①影響がかなりあった	15	23.4	16.3	46.7
②影響が多少あった	40	62.5	69.4	40.0
③影響はなかった	8	12.5	14.3	6.7
3 具体的にどのような取り組みを進めましたか(複数選択)				
(1)議会運営全般				
①議場・委員会室でのマスク着用(必着 極力着用)	63	98.4	98.0	100.0
②議場・委員会室に入場・入室の際のアルコール消毒(手指等 会議室)	59	92.2	91.8	93.3
③議場・委員会室の換気	58	90.6	89.8	93.3
④発熱等のある場合の入場・入室の自粛(議員 説明員 傍聴者)	57	89.1	87.8	93.3
④ 発熱自粛 議員	48	75.0	69.4	93.3
④ 〃 説明員	46	71.9	65.3	93.3
④ 〃 傍聴者	46	71.9	65.3	93.3
⑤検温実施	7	10.9	8.2	20.0
⑥議員間の座席に関するソーシャルディスタンスの確保	26	40.6	36.7	53.3
⑦議場・委員会室の空間(広さ)の制約により、会議の場所を、議会外の施設に設定	16	25.0	24.5	26.7
⑦本会議を議会外で	3	4.7	4.1	6.7
⑦委員会を議会外で	8	12.5	10.2	20.0
⑦その他会議を議会外で	5	7.8	10.2	0.0
⑧長側職員が必要最小限の出席要請～3密回避の観点	31	48.4	46.9	53.3
⑨傍聴者の座席に関するソーシャルディスタンスの確保	46	71.9	67.3	86.7
⑩傍聴の制限	18	28.1	28.6	26.7
⑪議場・委員会室、傍聴席への飲料水の持ち込み可	9	14.1	12.2	20.0
⑫一般質問・質疑の中止・取下げ、短縮化	16	25.0	22.4	33.3
⑬会期の縮小	7	10.9	10.2	13.3
⑭審議日数の短縮	11	17.2	16.3	20.0
⑮会期延長	0	0.0	0.0	0.0
⑯一般質問・質疑の議員・会派持ち時間の短縮	10	15.6	4.1	53.3
⑰一般質問から文書質問への切替え	6	9.4	4.1	26.7
⑱通年議会のため、柔軟に運用	12	18.8	24.5	0.0
⑲新型コロナを契機として、通年議会の制度化について検討	2	3.1	2.0	6.7
⑳オンライン会議の活用(本会議、委員会、その他)	7	10.9	12.2	6.7
⑳ オンライン会議の活用 本会議	1	1.6	0.0	6.7
⑳ 〃 委員会	1	1.6	2.0	0.0
⑳ 〃 その他	5	7.8	10.2	0.0
㉑オンライン会議の活用、議会内の自立性の強化の観点からの議員討議の充実化に向かう。	4	6.3	8.2	0.0
㉒インターネット視聴への誘導	27	42.2	49.0	20.0
㉓新型コロナ対策のための意見書提出	22	34.4	26.5	60.0
㉔視察受入の自粛・中止	27	42.2	38.8	53.3
㉕議員による視察の自粛・中止	52	81.3	79.6	86.7
㉖新型コロナを見据えたBCP(業務継続計画)作成	6	9.4	6.1	20.0
㉗現在のBCPを、新型コロナ対策を見据えて運用している。	7	10.9	10.2	13.3
㉘議会内に対策会議を設置して感染時に備える。	12	18.8	8.2	53.3
㉙オンライン会議等新型コロナ対策を見据えた会議規則等の改正	3	4.7	6.1	0.0
㉚新型コロナという、住民にとって最重要の課題であることから、参考人制度や住民の政策提案制度を活用して審議の充実を図る。	0	0.0	0.0	0.0
㉛新型コロナのため、議会参集を行わず、長の専決処分を容認した。	5	7.8	4.1	20.0
㉜新型コロナによる自治体の財政ひっ迫のため、議会経費等を削減	11	17.2	8.2	46.7
㉜ 議会経費削減 議員報酬	6	9.4	6.1	20.0
㉜ 〃 政務活動費	6	9.4	0.0	40.0
㉜ 〃 その他経費	6	9.4	4.1	26.7
㉜ 〃 議員定数	0	0.0	0.0	0.0
(2)議会と住民との交流				
①議会報告会等住民が集まる場での3密の回避やソーシャルスタンスの確保、マスク着用、手指等アルコール消毒、検温等を確保したうえで開催	14	21.9	14.3	46.7
②議会報告会等をリモート会議活用により開催	1	1.6	2.0	0.0
③議会報告会等の開催に当たり、参加者を少なくする一方で、開催回数を増やしている。	0	0.0	0.0	0.0
④議会広報を含め、住民への情報提供を増やした。	6	9.4	8.2	13.3
⑤議会が、新型コロナ感染拡大前に行ってきた活動より後退した項目が生じた場合の、住民への説明責任を果たしている。	2	3.1	4.1	0.0

調査項目	全体 64名	%	町村 %	市%
⑥議会モニター等少人数の住民参加(新型コロナの感染拡大の防止の観点)の有効活用	7	10.9	12.2	6.7
⑦新型コロナという、住民にとって最重要の課題であることから、参考人制度や住民の政策提案制度を活用して審議の充実を図る。(再掲)	0	0.0	0.0	0.0
⑧議会が、新型コロナ感染拡大前に行ってきた活動より後退した項目が生じた場合の、住民への説明責任を果たしていないため、住民からの不信感が増している。	2	3.1	2.0	6.7
⑨議会報告会等住民との交流を減らした。(中止した)	26	40.6	40.8	40.0
⑩住民主催の各種会合、行事等への参加、出席が減った。	47	73.4	75.5	66.7
(3)議会と長との関係				
①新型コロナ対策として、長に対して政策要望等を行った。	25	39.1	28.6	73.3
②新型コロナによるオンライン会議等情報基盤の整備のための国の交付金活用を、長に対して要求した。	10	15.6	16.3	13.3
②要求 予算化した	7	10.9	14.3	0.0
② " 実現せず	0	0.0	0.0	0.0
② " 今後の対応約束	2	3.1	0.0	13.3
③長側職員の必要最小限の出席要請 (再掲)	27	42.2	42.9	40.0
④一般質問から文書質問への切替え(再掲)	5	7.8	4.1	20.0
⑤オンライン会議の活用(本会議 委員会 その他)	6	9.4	10.2	6.7
⑥参考人制度や住民の政策提案制度を活用して審議の充実を図る。(再掲)	0	0.0	0.0	0.0
⑦議会参集を行わず、長の専決処分を容認した。(再掲)	4	6.3	4.1	13.3
4 職員・事務局関係				
(1)議会事務局職員との関係に変化がありましたか。				
①変化がかなりあった	0	0.0	0.0	0.0
②変化が多少多少あった	10	15.6	16.3	13.3
③変化はなかった	51	79.7	79.6	80.0
◆ どういった変化でしたか(複数回答)				
①事務局職員への調査依頼が減った	1	1.6	2.0	0.0
②①とは逆に、身近な事務局職員への調査依頼が増えた。	2	3.1	2.0	6.7
③議会内の諸会議、諸活動等に関する依頼、指示が減った	1	1.6	2.0	0.0
④議会(建物としての)を訪れるのが減った。	7	10.9	14.3	0.0
⑤議会(建物としての)を訪れるのが増えた。	2	3.1	2.0	6.7
⑥新型コロナの感染拡大を踏まえた、いわゆる「新しい議会活動」について情報収集の依頼を行うなど、新たな取組みへの協力要請	6	9.4	12.2	0.0
(2)議会事務局以外の職員との関係に変化がありましたか。				
①変化がかなりあった	2	3.1	4.1	0.0
②変化が多少多少あった	20	31.3	24.5	53.3
③変化はなかった	36	56.3	61.2	40.0
◆ どういった変化でしたか(複数回答)				
①職員の部署を訪れる回数、あるいは、議員のもとに来てもらう回数が減り、電話等で済ませるようになった	8	12.5	12.2	13.3
②住民からの依頼をつなぐことが減った。	1	1.6	0.0	6.7
③住民からの依頼をつなぐことが増えた。	7	10.9	8.2	20.0
④職員による本会議等の質問取りが減った。	0	0.0	0.0	0.0
⑤本会議等での質問が減った。(④と表裏)	0	0.0	0.0	0.0
⑥(北海道、市町村)管内の行事、会議、イベント等への出席・参加(依頼)が減った。	24	37.5	36.7	40.0
5 議会基本条例の制定等について				
(1)あなたの議会では、議会基本条例を制定していますか。				
①制定している(制定時期)	28	43.8	38.8	60.0
②制定していない	33	51.6	55.1	40.0
(2)議会基本条例を制定している場合、新型コロナの問題に対応していくうえで活用した条項などがありますか。				
①ある(活用できている)	11	17.2	12.2	33.3
②特にない(活用できていない)	10	15.6	16.3	13.3
6 コロナ禍のなかで今後の議会のあり方についておたずねします。				
①コロナ渦中においていくつかの試みを行ったので、これらをさらに進め、新しい議会のあり方を模索していくべき。	32	50.0	51.0	46.7
②現在の議会活動が(大幅に)制限されているので、これを教訓に、収束が見えてきたら、あらためて、今後の議会活動を見直したい。	8	12.5	14.3	6.7
③収束したら、元の議会活動に戻ると思うので、今は、我慢して、耐え忍ぶ。	8	12.5	12.2	13.3
④その他	8	12.5	8.2	26.7
7 新型コロナウイルス感染症による影響を経験して、ご自分の議会の今後の改革はさらに良い方向に向かうと思いますか。				
①そう思う(良い方向)	26	50.0	48.8	54.5
②そう思わない	7	13.5	14.6	9.1
③現状と変わらない	11	21.2	19.5	27.3